君待つと——万葉・古今・新古今 (3)

万葉集

F

憶良らは今は罷(まか)らむ(ン)子泣くらむ(ン)それその母も我(わ)を待つらむ(ン)そ

(エ)山上憶良(やまのうえのおくら)

私、憶良めはもう退出いたしましょう。子が泣いているでしょう。それ、その母も私を待っているでしょう。

G

※多摩(たま)川にさらす手作りさらさらに何(なに)そこの児(こ)のここだ愛(かな)しき

(ズ)東歌(あずまうた)

多摩川にさらさらとさらす手織りの布のように、さらにさらに、どうしてこの娘がこんなにもいとしいのだろうか。

H

父母が頭(から)かき撫(な)で幸(さ)くあれて言ひ(イ)し言葉(けとば)ぜ忘れかねつる

防人歌(さきもりのうた)

父母が（私の）頭をなで、無事であれと言った言葉が忘れられない。

I

新(あら)しき年の初めの初春(はつはる)の今日降る雪のいやしけ吉事(よごと)

(オ)大伴家持(おおとものやかもち)

新しい年の初めの初春（正月）の今日降る雪のように、ますます重なれ、よいことよ。

※多摩川…山梨県東部から東京都・神奈川県を流れ、東京湾に注ぐ川。

東歌と防人歌

東国地方の歌を**東歌**という。東歌には民謡(みんよう)的な歌も多く、言葉には東国の方言がみられる。

また、防人やその家族の歌を**防人歌**という。防人は、古代、九州北部などに派遣(はけん)された兵士で、多くは東国から集められた。「父母が……」の歌は、駿河国(するがのくに)の防人・丈部稲麻呂(はせつかべのいなまろ)によるもの。

確認テスト 和歌を読んで、問いに答えなさい。

(1) **F**の歌について、「罷らむ」の意味を選びなさい。

ア 黙(だま)っていましょう
イ 退出いたしましょう
ウ お伺(うかが)いしましょう

〔　　〕

(2) **G**の歌に含(ふく)まれる序詞(じょことば)に〰〰線を引き、序詞に導かれる言葉に――線を引きなさい。

多摩川にさらす手作りさらさらに何そこの児のここだ愛しき

(3) **H**の歌から、「父母」が言った言葉を書きぬきなさい。

〔　　〕

(4) **I**の歌から、雪のように重なってほしいとうたわれているものを書きぬきなさい。

〔　　〕

(5) **F**～**I**の中から、句切れがあるものを選び記号で答えなさい。

〔　　〕